

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	神経鞘腫の免疫染色および病理学的検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	1990年4月1日～2022年1月31日に新潟大学医歯学総合病院皮膚科または新潟県立がんセンター新潟病院で神経鞘腫の切除を行った方。 対象期間は倫理委員会承認日から2027年3月31日です。
③概要	皮膚に生じる良性腫瘍である神経鞘腫は単発で生じることが多いですが、皮膚、脊髄内に多発することもあります。一方で、神経鞘腫が多発する神経鞘腫症という遺伝性疾患もあります。過去の報告では、神経鞘腫症の患者の病理検体では、神経鞘腫の特徴の他に、神経線維腫という別の皮膚腫瘍の特徴的な所見が得られることが報告をされておりますが、現時点で大規模な研究はされておらず詳細は分かっていません。本研究は、新潟大学医歯学総合病院皮膚科または新潟県立がんセンター新潟病院で神経鞘腫の切除を行った患者さんの過去の検体を用いて、神経鞘腫の特徴の他、神経線維腫の特徴を有するかについて検討を行います。
④申請番号	2021-0376
⑤研究の目的・意義	神経鞘腫の多数の検体、患者情報を検討することにより、神経鞘腫の患者でどのくらいの割合で神経鞘腫の特徴の他、神経線維腫の特徴を有するかについて検討します。本研究により神経鞘腫の病態解明および神経鞘腫症の病態解明の一助となる可能性があります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟大学医歯学総合病院および新潟県立がんセンター新潟病院の患者情報は個人を特定出来ないように匿名化を行います。また、この研究の結果を学会や医学雑誌などに発表する可能性がありますが、いずれの場合にも患者の個人情報（名前や住所、電話番号など）が公表されることは一切なく、研究により得られたデータや検体が他の目的に使用されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	新潟大学医歯学総合病院皮膚科または新潟県立がんセンター新潟病院で過去に神経鞘腫を切除した患者さんの病理検体および臨床情報（年齢、性別、発症部位、腫瘍の大きさ、多発か単発かどうか、家族歴）
⑨利用する者の範囲	新潟大学 皮膚科 林 良太、勝見達也、安齋 理、結城明彦、佐々木 仁、阿部理一郎 新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科 竹之内辰也、高塚純子、中村杏奈

⑩ 試料・情報の管理について 責任を有する者	本学：新潟大学 皮膚科 林 良太 新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科 竹之内辰也
⑪ お問い合わせ先	所属：新潟大学 皮膚科 氏名：林 良太 Tel：025-227-2282 E-mail：rh19840629@med.niigata-u.ac.jp